

時実利彦 ときじま 大脳生理學者、醫學博士。明治四十一年九月四日岡山縣生れ、昭和四十八年八月二日歿（一九九一—七三）。第十八高等學校を經て、昭和九年東京帝國大學醫學部卒業。三十一年東大醫學部附屬腦研究所施設教授、のち施設長、四十一年京都大學靈長類研究所教授兼任。前電圖學會を創始し、腦死判定基準を纏めた大脳生理學の權威。

著書『人間のからくり』（昭和二十四年五月）『毎日新聞社』、『よくわかる現代人—相争うこころの心をどう操るの』（昭和二十五年九月）『毎日講談社』『ミリオン・ブックス』、『脳のまじく—あたかもきすすきすの』（昭和二十七年六月五日毎日新聞社）、『脳の話』（昭和二十七年八月）『岩波書店』、『岩波新書』、『人間ごまごまの』（昭和四十五年）『岩波書店』、『岩波新書』、『脳と神経系』（編、昭和五十一年十月十八日岩波書店）、『頭をよくする話』（昭和六十年九月十五日）『笠書房』等。

